

令和6年度事業計画（概要）

- 1 配合飼料価格差補てん事業（業務対象年間：令和3年度～6年度）
当初契約件数840件、契約数量1,198,000t
前年度当初比較 契約件数25件の増、契約数量2,055tの減
輸入原料の価格動向を注視しながら、迅速かつ的確な価格差補てん業務を推進する。
- 2 畜産振興事業等の推進
飼料荷受組合等関係機関と十分な連携を図り、これまで同様の事業を推進する。
 - (1) 肉用子牛生産者補給金制度事業（業務対象年間：令和2年度～6年度）
契約生産者数11戸、個体登録頭数2,120頭
 - (2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度事業（業務対象年間：令和4年度～6年度）
契約生産者数71戸、個体登録頭数27,500頭
 - (3) 肉豚経営安定交付金制度事業（業務対象年間：令和6年度～8年度）
契約生産者数56戸、事業対象頭数400,000頭
 - (4) リース事業
畜産環境整備リース事業等の事業実施者の償還額を徴収し、納付するとともに、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の活用等を併せて推進する。
 - (5) 家畜防疫互助基金支援事業（業務対象年間：令和6年度～8年度）
契約生産者数133戸、契約頭数528,697頭
 - (6) 畜産コンサル体制強化事業（令和3年度～）
飼料荷受組合等を対象として、研修会等を実施する。
 - (7) 畜産経営飼料高騰対策支援事業（令和4年度～ 毎年度補正）
配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金相当額の一部を支援する（トン当たり上限200円）。
 - (8) 畜産飼料流通効率化緊急支援事業（令和5年度2月補正）
価格が高騰する飼料の給与量節減や労力軽減のため、畜産農家に対して、飼料残量測定装置等の導入費用を補助する（1/2以内）。